

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

ただ今留学中

(留学中のレポート特集)

タスマニアで気づいたこと

I21 泉 真惟子

姉妹校交換留学

St.Patrick's College(オーストラリア)

2017/721 ~ 9/2



ホストチューデントのSarahと

タスマニアに来て2週間が経ちました。

まず、全然日本と変わらないなと思いました。事前学習や、自分で調べたことを通して生活様式が全然違うと思ったので、それなりの覚悟を持ってタスマニアに来たのですが、あまりの日本との差の無さに驚きました。学校の友だちはとても日本に興味を持ってくれて、よく日本について聞いてくれたりします。自分が英語を聞き取れなかった時はもう一回

言ってくれたり、簡単な表現に変えたりして伝わるようにしてくれました。

できるだけ授業に参加しようと思い、ノートを取ったり、分からない単語を調べたり、問題を解いたりして、できるだけ他の生徒の皆さんと同じようにしています。でも、黒板の字が読めなかったり、どうやって解くのか分からない時は友だちに聞きます。友だちは本当に優しく教えてくれます。おかげでなんとか授業の内容を理解することができました。友だちの助け無しでは全然何もできないので、友だちには本当に感謝しています。



学校の友達と

ホストファミリーは本当に親切で、よく天気やタスマニアのことを教えてくれます。土曜日と日曜日はいろんなところに連れていってくれ、タスマニアのことをよく知ることができます。最近『魔女の宅急便』の舞台であるロスベーカーリーに連れていってもらいました。

そして、私が持って行ったお土産の筆ペンで書道をしました。なによりも、自分はまだまだなんだと気づくことができましたし、英語をもっと勉強するモチベーションが上がった2週間でした。(2017/08/04 受信)

間違っているでも話そう

111 一門 央
姉妹校交換留学
St.Patrick's College(オーストラリア)
2017/721 ~ 9/2

初めてのタスマニアに来て私が思ったことは、「思ったより英語が聞き取れないな」ということです。そのとき私は、勉強をしてるつもりでもできてないんだな、と思いました。



友だちと

初めの2日間、それがショックで友だちといっても黙り込み、正直やっていけるか不安になりました。でも、友だちやホストファミリーがいっぱい話しかけてくれたり、「聞き取れなくて困ってる時はこうやって言ったらいいよ。このときはこうやって言うんだよ」と色々表現を教えてくれたおかげで、ポジティブになれました。

それからは、友だちとは、昼休みにカードゲームをしたり、喋ったりして、馴染むことができました。また、知らない人でも目が合ったらにこっと笑ってくれるので安心して前よりは自分からも積極的に話しかけられるよ



家族と

うになりました。前は間違った英語は恥ずかしいなど思っていたのですが、今はとりあえず間違っているでも話そうと思えてきました。しかし、やっぱりわからないとき、伝わらないときはホストチューデントに助けをもらっており、ホストチューデントには感謝しています。

あと4週間、ホストチューデントの助けなしを目標にし、よりいい経験にできるように頑張ります。(2017/08/04 受信)

タイ語と英語と日本語と

121 倉田麻理菜
姉妹校交換留学
Roong Aroon School (タイ)
2017/7/15 ~ 8/26

タイに来てあっという間に4週間が経ちました。

今週の金曜日に国際パーティーという、日

本語やドイツ語、フランス語などの外国語を勉強している生徒たちの発表会のようなものがありました。私たち日本人はラナードというタイの楽器とタイ踊り、日本語クラスの生徒と恋ダンスを踊りました。私はタイ踊りをする前に挨拶と、今から何をするかというのをタイ語で言いました。タイ語は日本語と違い発音がとても難しく、違いがわからない言葉がたくさんあるので覚えるのがとても難しいです。



ホストファミリーが変わり、今のホストファミリーの家には犬が 2 匹います。犬と暮らすことが夢の一つだったので今とても幸せです。ホストファミリーは色々なことを私に教えてくれ、単語だけなら、本当に少しですが、タイ語が分かるようになりとても楽しいです。ホストファミリーやタイの友だちは私に「アロイマイ？(美味しいですか?)」や、「ギンダーイマイカー？(食べられますか?)」や、「サヌックマイ？(楽しいですか?)」など言ってくれとても気にかけてくれます。タイ語で話すときもあれば英語で話したり日本語で話したりするときもあるので、何語で話しかけられているか分からなくなる時もあります。それもまた、初めての体験でとても面白いです。

私が今、はまっている言葉は「ヤック パイ ホンナム ダーイマイ カー？」です。意味は、「トイレに行きたいですがいいですか？」です。他にも色々教えてもらっていますが、ま

だまだ話すことはできないのでもっともっと勉強したいと思いました。

タイの多くの人が英語を話せて、ホストシスターは中学生ですが、高校生と同じくらい英語を流ちょうに話していてとても驚いています。他の中学生もみんな英語がとても上手です。タイでは幼稚園から英語の歌を歌ったりしているようで、いいことだなと思いました。

タイでの生活はあっという間に過ぎて、あと 2 週間で終わってしまいます。まだまだしたいことがたくさんあり、ホストファミリーとももっと話したいです。来週からは夏休みに入るので、まだしていないことをしていきたいなと思います。あと 2 週間という短い期間の一日一日を無駄にせず過ごしたいと思っています。(2017/8/11 受信)

International Festivalのこと

111 山本 結友
姉妹校交換留学

Roong Aroon School (タイ)

2017/7/15 ~ 8/26

4 週間が経ちました。タイの学校もホストファミリーとの生活にもだんだん慣れてきました。タイ語もたくさん覚えました。「サワデーカー」(こんにちは)、「コップンカー」(ありがとう)、「アロイ」(美味しい)など基本的なあいさつを覚えました。一番好きなタイ語は、「アンニー タオライ カー」です。意味は「これはいくらですか?」です。これを覚えておくだけで一人で何かを買うことができとても便利だからです。他にも「チョープ」(好き)や「サヌック」(楽しい)などの言葉も好きです。

3 週間目の土曜日にホストファミリーと友だちと一緒にマーケットに行きました。トゥクトゥクに乗ったり辛い料理を食べたりアクセサリーを買ったりしました。とても楽しかったです。まだこのホストファミリーと一緒に住みたいな、もっと一緒にいたいなと思いました。



日曜日からは違うホストファミリーに変わりました。皆とても優しくてよく「これ食べてみて」と色々なタイの食べ物を紹介してくれます。最近はドリアンやココナッツをよく食べます。美味しかったです。最近よくお母さんとお父さんが日本のお菓子和タイのお菓子をくれます。例えば、どら焼きや北海道のポテトチップスなどの日本のお菓子。そして、中

にココナッツが入ったヨーグルトや干したバナナなどのタイのお菓子。どれもとても美味しかったです。特に干したバナナはとても美味しかったです。



8月11日金曜日に International Festival がありました。私はラナードという楽器を弾いたり、タイダンスを踊ったり恋ダンスを踊ったりしました。特にタイダンスはとても緊張しました。理由は日本人 2 人で踊るからです。そして、日本の盆踊りよりも遥かに難しく、振りを覚えるのがとても難しかったです。タイ伝統の服を着て踊りました。浴衣とは違う可愛さがありました。そして恋ダンスは日本でドラマをずっと見ていたので意外と簡単に踊れました。サビは完璧に踊れるけど、他の部分が曖昧なのでそこをしっかりと練習し本番はしっかりと踊れるようになりました。

あと残り 2 週間は学校生活ではなく、ホストファミリーと一緒にずっといるのもっとタイ語や英語を学び、もっと良い思い出を作りたいと思います。 (2017/8/12 受信)

